物質の引火点

可燃性物質(主として液体)を一定昇温で加熱し、これに火炎を近づけたとき、瞬間的に引火するのに必要な濃度の蒸気を発生する最低温度を引火点なという。

物質	$t_{ m fl}/{}^{ m C}$	物質	$t_{ m fl}/{ m C}$
ジエチルエーテル	- 45	キシレン	27
ガソリン	-43 以下	灯 油	$40 \sim 60$
石油ベンジン	-40 以下	軽油	$50 \sim 70$
二硫化炭素	-30	重 油	$60 \sim 100$
アセトン	-20	アニリン	70
ベンゼン	-11	ナフタレン	79
シンナー類	- 9	ニトロベンゼン	88
トルエン	4	機械油	$106 \sim 270$
メタノール	11	ごま油	$289 \sim 304^*$
エタノール	13	菜種油	$313 \sim 320^*$

主として日本化学会編, 化学防災指針 I, 丸善(1979).

物質の発火点

物質を空気中で加熱するとき、火源がなくとも発火する最低温度を発火点 t_{ig} という。つぎに示す値は試料の形状、測定法によって大きく異なる。

物質	$t_{ m ig}/{ m C}$	物質	$t_{ m ig}/{ m C}$
水素	500	ポリプロピレン	201*
メタン	537	ポリスチレン	282*
プロパン	432	メラミン	380*
エチレン	450	テフロン	492*
アセチレン	305	, , , , ,	132
一酸化炭素	609	古タイヤ	$150 \sim 200^*$
硫化水素	260	木 材	$250 \sim 260^*$
二硫化炭素	90	新聞紙	291
ディーゼル燃料油	225		
コンプレッサー油(鉱油)	$250 \sim 280^*$	木 炭	$250 \sim 300$
アセトン	469	泥炭	$225 \sim 280$
ベンゼン	498		100*
アニリン	615	ココア	180*
黄リン	30	コーヒー	398*
赤リン	260	デンプン(コーン)	381*
硫 黄	232		
ナフタレン	526		

^{*} 駒宮, 森崎, 若倉, 化学物質の危険性予測データ, 施策研究センター(1984).

^{*} 日本油脂検査協会, 平成4年格付結果報告書(1993).